

『継母の心得』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『継母の心得』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『継母の心得』を読んだことのある10代～50代の男女5名
調査期間	2026年2月5日～2026年2月6日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/keibonokoroe/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『継母の心得』の最終回の結末を予想してください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	2人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2: 『継母の心得』の最終回の結末を予想してください。

前世の知識を最大限に活かしての子育ては夫の心を変えるでしょう。最後はきっと超仲良し家族となるのではないのでしょうか。悪女というよりもむしろ最高の女性・聖母としてこの世界でずっと語り継がれることとなるはずです。

悪魔アバドンの影響を受けて、皇帝は傍若無人な態度を取るようになります。それをテオバルトが、皇后陛下と共闘しつつ成敗。皇帝の座はイーニース殿下が引き継ぐことになり、その後見人にテオバルトがなると思います。ノアはイーニース殿下の良き友として成長していき、最後には宰相に。テオバルトの手を離れ、名実ともに皇帝となったイーニースをノアが支えていくという終わり方をするのではないかと思います。

『継母の心得』の最終回は、悪魔や側妃たちの企みを阻止して無事イーニースが皇帝に即位し、ノアが側近として彼を支えるというラストを迎えると予想します。また、イザベルとテオバルドは共に苦難を乗り越えることによって本当の夫婦となり、最終回ではノアの弟か妹が生まれているのではないかと思います。

本来の物語では、イザベルにとって悲惨な結末になっており、敵と言える存在もありますが、本編では基調はほのぼのとした子育てファンタジーの色が強めです。そのため結末も、関わる人たちがみんなハッピーに終わる可能性が高いのではないのでしょうか。特に主要キャラであるノアとテオバルドとの関係性は、既に本来の物語とは大きく異なっており、幸せな家族に近づいていることは想像に難くありません。恐らく今後も最終回へ向けて物語を本来の形に引き戻す力が働くと考えられますが、イザベルの優しい心と機知、そして周りの協力で切り抜け、夫と息子と共に愛を育んでいくと考えられます。

悪役継母として転生した主人公が、ノアを立派に育て上げ、血の繋がりを超えた「本物の家族」になるハッピーエンドが本筋かと。見逃せないポイントは、成長したノアに「お母様」と心から呼ばれるのか。愛の力が運命を塗り替え、そして、主人公が望んだ「温かな家庭」がどのように完成系を迎えるのか。最高に優しい結末を期待しています。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス